

# 別紙1 機能要件【統合型GIS 機能一覧】

要件定義				
機能分類体系			要件	
大項目	中項目	小項目		
■基本要件				
地図	表示	1	レイヤーの表示	レイヤーを地図上に表示する。
		2	レイヤーの解放	凡例上のレイヤー一覧からレイヤーを削除する。
		3	マップの表示	マップを地図上に表示する。
		4	表示／非表示の切替	マップ、レイヤーの表示／非表示を切り替える。
		5	複数地図の同期	複数の画面で同じ位置を表示する。
		6	レイヤー一覧凡例表示	レイヤー一覧と凡例を表示する。
		7	レイヤー表示順の変更	画面に表示しているレイヤーの順番を変更する。
		8	透過率設定	画面に表示しているレイヤーの透過率を設定する。
		9	コピーライト表示	地図の著作権等を表示する。
		10	中心位置表示	地図の中心座標を表示する。
		11	第二座標系による座標表示	地図の測地系とは別の測地系でマウス位置や中心座標を表示する。
		12	スケールバー表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示する。
		13	ログインユーザー表示	ログインユーザー名を画面内に表示する。
	移動	14	定率移動	表示地図を任意の方向に一定割合で移動させる。
		15	ドラッグ移動	マウス操作により地図をつかんだようにして移動する。
		16	フリースクロール移動	地図を任意方向に連続移動する。
		17	戻る	1つ前の表示範囲に戻る。
		18	進む	前の表示範囲に戻したときに戻す前の表示範囲に進む。
	場所移動	19	住所検索	町名や地番を選択し、対象住所の位置を地図表示する。
		20	地番検索	地番を選択し、対象住所の位置を地図表示する。
		21	目標物検索	目標物名を選択して対象目標物の位置を地図表示する。
		22	アドレスマッチングによる場所移動	入力された住所文字列でアドレスマッチングを行った結果で位置を移動する。
		23	クイック検索（文字列）	住所、地番、目標物の文字列を入力し、対象の位置を地図表示する。
		24	クイック検索（平面座標）	指定した平面座標を中心に地図を画面表示する。
		25	クイック検索（緯度経度（10進））	指定した緯度経度（10進標記）を中心に地図を画面表示する。
		26	クイック検索（緯度経度（60進））	指定した緯度経度（60進標記）を中心に地図を画面表示する。
		27	50音かな検索	町字をかな入力して検索する。
		28	ブックマーク	名称を付けて特定の位置を登録し、登録したものを呼び出すことで移動する。
	拡大／縮小	29	定率拡大／縮小	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小する。
		30	指定範囲拡大／縮小	表示地図領域内で矩形領域を指定し拡大する。
		31	連続ズーム	表示地図をマウスホイール操作により連続的に拡大・縮小する。
		32	縮尺指定	リストから選択または入力した縮尺で地図を画面表示する。
		33	全域表示	地図画面上に表示されているレイヤー全体を表示する。
		34	レイヤー範囲表示	指定するレイヤーの範囲を地図画面に表示する。
	索引図	35	メイン地図の領域表示	全体図（索引図）上に、メイン地図画面の表示領域を示す。
		36	メイン地図との同期	メイン地図の動きと同期して、メイン地図の領域枠を移動、拡大縮小する。
	メモ	37	メモ表示	メモレイヤーを読み込み、表示する。
		38	メモの編集、保存	メモレイヤーの編集内容（図形の登録、更新）を保存する。
		39	メモの終了	メモの編集モードを終了する。

## 別紙1 機能要件【統合型GIS 機能一覧】

要件定義					
機能分類体系			要件		
大項目	中項目	小項目			
■基本要件					
データ管理	レイヤー管理	40	新規レイヤー作成	レイヤー名、データソース名、属性の種類を指定し、レイヤーを登録する。	
		41	レイヤーの削除	作成したレイヤーを削除する。	
		42	レイヤーの権限設定	レイヤーに対して、編集・印刷・出力の権限を指定する。	
		43	共有レベルの設定	レイヤーの共有レベル（全体公開、グループ公開、マイレイヤー）を指定する。	
		44	レイヤーのオーナー設定	レイヤーの所有者を設定する。	
		45	レイヤー名の変更	作成済みのレイヤーの名称を変更する。	
		46	テーブルの再定義	レイヤーの属性定義を変更する。	
		47	エイリアスの設定	フィールド名に別名を設定する。	
	48	ファイリング設定	レイヤーに対してファイリング対象にするかどうかの設定をする。		
	49	ファイリングデータの参照	図形データに対して関連づけられているファイルを参照する。		
	50	ファイリングデータの登録	図形データに対して任意ファイルを関連づける。		
	シンボル/ラベル設定	シンボル/ラベル設定	51	単一シンボル	単一の線種、線色、塗りつぶし色等のシンボル設定をする。
			52	個別値シンボル	属性値ごとにシンボルを設定してレイヤーを表示する。
			53	シンボル非表示	シンボルを表示しない設定ができる。
			54	画像シンボル設定	画像ファイルをレイヤーのシンボルとして設定する。
			55	単一ラベル	単一の文字種、文字色等のラベル設定を行う。
			56	段ラベル	ラベルを複数行表示する。
			57	ラベル非表示	ラベルを表示しない設定。
			58	棒グラフ	属性値を用いて棒グラフを作成し、レイヤー表示する。
			59	円グラフ	属性値を用いて円グラフを作成し、レイヤー表示する。
			60	表示縮尺の設定	シンボルやラベルを表示する縮尺範囲を指定する。
			61	シンボル/ラベル変更の保存	シンボル/ラベルの設定変更を保存する。
			62	シンボル/ラベル変更の破棄	シンボル/ラベルの設定変更を破棄する。
			63	シンボル/ラベル変更の適用	シンボル/ラベルの設定変更を保存せずに反映する。
	マップ管理	マップ管理	64	作成	背景レイヤーと主題レイヤーの組み合わせをマップとして保存する。
			65	上書き保存	マップの変更を保存する。
			66	読み込み	マップを読み込み、表示する。
			67	削除	作成したマップを削除する。

## 別紙1 機能要件【統合型GIS 機能一覧】

要件定義				
機能分類体系			要件	
大項目	中項目	小項目		
■基本要件				
検索	個別属性表示	68	属性照会	地図画面上でクリックした地物の属性を表示する。
		69	吹き出し情報表示	地図画面上でクリックした地物の属性を吹き出しの形状で表示する。
		70	重なった図形から特定	図形が複数重なっている場合に、図形のIDを使って属性照会対象を選択する。
	空間検索	71	空間検索	マウス操作により対象領域を指定し、領域内に含まれた地物の属性を表示する（対象領域の指定は、既存図形・新規入力（多角形・円・点・線）から選択可能）。
		72	検索の絞り込み	空間検索や属性検索からの検索結果一覧からさらに絞り込み検索する。
	属性検索	73	属性検索	検索条件を設定して属性データを検索し表示する。
		74	検索条件の抽出	検索しようとするデータ項目にどのようなデータが格納されているかをコンボボックスに表示する。
		75	あいまい検索	表示しているレイヤーすべてに対して同時にキーワード検索を行い、キーワードが含まれるレイヤーとそれが含まれる項目名と件数を表示し、さらに絞り込み検索をする。
		76	検索結果の絞り込み	検索結果を対象として属性検索をする。
		77	検索結果の消去	検索結果の色塗りおよび属性一覧の内容を消去する。
	レイヤー検索	78	レイヤー検索	選択された検索レイヤーの図形と重なる図形を検索する。
		79	レイヤー全検索	検索レイヤーの全図形について重なる図形を検索する。
		80	レイヤー解析	2つのレイヤーを重ね合わせ、重なる（または重ならない）図形を検索する。
	属性一覧	81	レイヤーの属性表示	検索された、またはすべてのレイヤーの属性を一覧表に表示する。
		82	検索結果の強調表示	検索された属性情報に対応する地物を強調表示する。
		83	選択範囲表示	検索結果の属性一覧で選択された属性情報に対応する地物を地図表示する。
		84	並べ替え	検索結果の属性一覧を昇順もしくは降順に並べ替え表示をする。
		85	属性一括更新	指定した属性項目について、属性一覧上に表示されている全行を一括で更新します。
		86	属性照会	属性一覧上で選択された属性情報を単票形式で表示する。
		87	属性編集	表示した属性の内容を編集する。
		88	属性編集補助	リストやカレンダーによる入力補助。
89		項目集計	検索された属性データを利用して小計・件数などの集計、集計結果のCSVファイル出力。	

## 別紙1 機能要件【統合型GIS 機能一覧】

要件定義				
機能分類体系			要件	
大項目	中項目	小項目		
■基本要件				
印刷	印刷	90	印刷	凡例等が表示された地図を印刷する。
		91	PDF印刷	PDFファイルで出力する。
		92	プレビュー	印刷結果をあらかじめ画面上で確認する。
		93	印刷拡張機能	表示した地図に印刷枠を複数配置してまとめて印刷する。
		94	ライン指定による印刷枠設定	拡張機能で選択されたライン図形にそって印刷枠を複数配置する。
		95	図郭印刷	図郭地図上で選択された図郭範囲だけ印刷する。
		96	ジョブ印刷	印刷ジョブとして登録し、順次実行されたものをダウンロードする。
		97	印刷縮尺の指定	印刷する地図縮尺を指定する。
		98	印刷レイアウト	印刷レイアウトをあらかじめ登録できる。
		99	整飾	印刷する地図に凡例、タイトル、方位シンボル、スケールバー等を配置する。
		100	フッター出力	印刷結果に印刷日時、ユーザー名等を出力する。
		101	セキュリティテキスト	印刷結果にあらかじめ設定した注意文を出力する。
102	属性出力	印刷レイアウトに属性情報を出力する。		
出力	ファイル出力	103	画像エクスポート	表示中の地図画面を画像ファイルとして出力する。
		104	CSVエクスポート	検索等により表示された属性データをCSVファイル形式で出力しダウンロードする。
		105	一括CSVエクスポート	属性一覧に表示された属性情報を一括でCSV形式のファイルに出力する。
		106	SHAPEエクスポート	検索等により表示された図形データをSHAPE形式で出力する。
		107	KMLエクスポート	検索等により表示された図形データをKML形式で出力する。
入力	ファイル入力	108	CSVインポート	CSVファイルを外部属性テーブルとしてインポートする。
		109	位置情報付きCSVインポート	位置情報が入力されているCSVファイルをインポートし、ポイントレイヤーを生成する。 位置情報は以下の3形式に対応 1) 住所（アドレスマッチング） 2) XY座標 3) 緯度経度
		110	SHAPEインポート	SHAPEファイルをインポートする。
		111	SIMAインポート	SIMAファイルをインポートする。
		112	KMLインポート	KMLファイルをインポートする。
		113	GPXインポート	GPXファイルをインポートする。
		114	新規レイヤー／テーブル作成	各データのインポート時に新規レイヤー／テーブルを作成する。
		115	既存レイヤー／テーブルに追加	各データのインポート時に既存レイヤー／テーブルにデータを追加する。
		116	属性更新	インポートしたCSVファイルの内容でレイヤーの属性を更新する。
		117	Exifファイルのインポート	インポートした画像ファイルのExif情報から座標位置の追加と画像のファイリングを行う。
		118	地図上への画像貼り付け	座標を指定して画像ファイルを地図上に貼り付ける。

# 別紙1 機能要件【統合型GIS 機能一覧】

要件定義					
機能分類体系			要件		
大項目	中項目	小項目			
■基本要件					
計測	計測	119	距離計測	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の距離を表示する。	
		120	面積計測	地図上でマウスクリックにより指定した多角形の面積と周長を表示する。	
		121	図形計測	選択された図形の距離や面積を表示する。	
		122	角度計測	マウスで入力した2本のライン間の角度を表示する。	
		123	スナップ	指定したレイヤーの図形に対してスナップしながら計測図形を入力する。	
		124	スナップ設定	スナップ対象レイヤー、スナップ範囲などスナップの条件を設定する。	
		125	計測結果の削除	計測結果の表示を消去する。	
		126	計測結果の座標表示	計測図形の頂点の座標をリスト表示する。	
編集	図形編集	127	編集の保存	図形編集した内容を保存する。	
		128	編集のキャンセル	図形編集した内容を破棄する。	
		129	図形の追加	地図上にマウスでポイント、ライン、ポリゴン図形追加する。	
		130	図形の削除	選択された図形を削除する。	
		131	図形の移動	選択された図形を移動する。	
		132	図形の複製	選択された図形をコピーする。	
		133	図形の形状変更	作成済みの図形の形状を変更する。	
		134	図形の回転	選択された図形を回転する。	
		135	図形の拡大／縮小	選択された図形を拡大、縮小する。	
		136	図形の属性編集	選択された図形の属性値を編集する。	
		137	円の追加	地図上でマウスクリックとドラッグにより円を作図する。	
		138	平行線の作成	選択された線分と平行な線分を作成する。	
		139	スナップ編集	指定されたレイヤーの図形に対してスナップしながら編集する。	
		140	スナップ設定	スナップ対象レイヤー、スナップ範囲などスナップの条件を設定する。	
		141	トポロジ編集	ポリゴンについて、共有する頂点を移動することで図形を更新する。	
		142	重なった図形から特定	図形が複数重なっている場合に、図形のIDを使って編集対象を選択する。	
		高度な図形編集	143	バッファ作成	バッファ図形を生成する。
			144	一括バッファ作成	空間検索等で検索された複数の図形に対して一括でバッファ図形を生成する。
	145		分割	選択された図形をマウスで分割線を入力して分割する。	
	146		結合	選択された2つの図形を合成する。	
	147		くり抜き	選択した図形をマウスで入力した図形でくり抜く。	
	148		図形コピー・移動	2つの異なるレイヤー間で図形のコピーや移動をする。	
	ファイリング	149	ファイリング登録	新規図形登録時または図形編集時に任意ファイルに関連づける。	
		150	ファイリング削除	登録されたファイリングデータを削除する。	
		151	ダウンロード	登録されたファイリングデータをダウンロードする。	
		152	サムネイル表示	登録されたファイリングデータをサムネイルで表示する。	
	簡易作図	153	図形入力	レイヤーを指定せず、一時的な図形（点、線、面、文字）を入力する。	
		154	入力図形の消去	入力した簡易図形の一括消去。	
サポート		155	ヘルプ	ヘルプを表示する。	
		156	バージョン情報	システム情報等を表示する。	

## 別紙2 機能要件【固定資産GIS 機能一覧】①

要件定義		
機能分類体系		要件
大項目	小項目	
■基本要件		
土地機能	1 分筆	筆を分筆する機能
	2 合筆	筆を合筆する機能
	3 追加	新しく筆を入力する機能
	4 筆界	筆界線を入力する機能
	5 地番	所在地番を入力する機能
	6 引出線	引出線を入力する機能
	7 属性	地番図図形の属性を修正する機能
	8 図形修正	選択した図形の位置や形状を修正する機能
	9 キャンセル	一連の操作を中断する機能
	10 削除	選択した図形を削除する機能
家屋機能	11 家屋入力	家屋形状を入力する機能
	12 棟番入力	棟番号を入力する機能
	13 引出線	引出線を入力する機能
	14 棟割	既存の家屋形状を棟割する機能
	15 属性	地番図図形の属性を修正する機能
	16 図形修正	選択した図形の位置や形状を修正する機能
	17 直角補正	家屋形状を入力する際、直角入力をサポートする機能
	18 キャンセル	一連の操作を中断する機能
	19 削除	選択した図形を削除する機能
	20 配置調整	家屋形状を回転、拡大・縮小、移動し、調整する機能
画地機能	21 画地認定	土地ポリゴンを選択して画地認定する機能、マウス作図により画地形状を入力する機能
	22 画地評価 (市街地宅地評価法)	市街地宅地評価法による評価機能（近似整形地、手動奥行（H6以前）、区分整形地は含めない）
	23 画地評価 (その他の宅地評価法)	その他の宅地評価法（宅地の比準表）による評価機能（近似整形地、手動奥行（H6以前）、区分整形地は含めない）
	24 評点数・保存/計算	附表の表引き及び㎡当たり評点数計算を行う。附表は選択可能。計算結果は参考値扱い
	25 評点数・その他補正率	
	26 評点数・印刷	
	27 評価分割	1筆の土地を地目による分割を行う機能
	28 キャンセル	一連の操作を中断する機能
	29 削除	選択した図形、評価情報を削除する機能
路線機能	30 路線入力	路線形状を入力する機能
	31 属性	図形の属性を修正する機能
	32 図形修正	選択した図形の位置や形状を修正する機能
	33 用途価格	画地計算に必要な固定資産用途、路線価を確認する機能
	34 キャンセル	一連の操作を中断する機能
補助点入力機能	35 削除	選択した図形を削除する機能
	36 補助点入力機能	交点、延長等による補助点の入力
	37 座標入力機能	Sima、CSVからの座標データの取込み
測量図機能	38 補助点クリア機能	補助点入力機能や座標入力機能で入力した補助点をクリア（削除）する機能
	39 測量図機能	測量図画像を移動、回転、拡大・縮小し地図画面に重ね合わせる機能
検索機能	40 測量図クリア機能	測量図機能にて入力した測量図をクリア（削除）する機能
	41 台帳検索	所在地番により土地・家屋課税マスタを検索する機能
	42 家屋検索	家屋番号を指定して課税マスタを検索する機能
	43 宛名検索	所有者氏名または宛名コードを指定して宛名マスタを検索しそれに該当する土地、家屋マスタを検索する機能
	44 路線検索	路線番号を指定して路線マスタを検索する機能
属性表示	45 地番検索	地番図の所在を指定して地番図を検索する機能
	46 ランキング表示	課税マスタを使用して色分け表示する機能
照会・印刷機能	47 属性表示	課税マスタを使用して地番の下等に地目等を表示する機能
	48 単票表示	指定した図形、台帳を単票形式で表示、印刷する機能
	49 角度測定	選択した2辺または入力した3点から角度を測定する機能

## 別紙2 機能要件【固定資産GIS 機能一覧】②

要件定義		
機能分類体系		要件
大項目	小項目	
■基本要件		
登記データ管理	1 登記データ取込	法務局から提供される要約書データをシステムに取り込むことができる。
	2	法務局から提供される登記済通知書データをシステムに取り込むことができる。
	3 登記データ照会	システムに取り込んだ要約書データ及び登記済通知書を検索できる。
	4	システムに取り込んだ要約書データ（表示、甲区、乙区）及び登記済通知書データ（表示、乙区）の内容を確認できる。
土地データ管理	5 土地データ変換	要約書データ内にある土地データのみを抽出し、表題登記（過去履歴含む）と所有権情報等を元に、土地の登記履歴を作成できる。
	6 土地データ照会	作成した土地の登記履歴のうち、最新の履歴のみを検索できる。 検索条件に「所在/地番、所有者氏名/住所（共有者含む）、地目、地積、登記日付、登記内容、閉鎖有無」等を指定できる。
	7	作成した土地の登記履歴のうち、過去の履歴を含めて検索できる。 検索条件に「所在/地番、所有者氏名/住所（共有者含む）、地目、地積、登記日付、登記内容、閉鎖有無」等を指定できる。
	8	検索結果から土地履歴データを選択し、登記情報（表示、甲区、乙区）を確認できる。 また、「登記済通知書形式／全部事項形式／台帳形式」で出力できる。
	9	検索結果から土地履歴データを選択し、登記情報を編集することができる。 また、作成した履歴データの処理状態（調査中、調査済など）や任意項目（必要に応じて利用可能）を編集することができる。
	10	検索結果をCSV形式（カンマ区切り）、TXT形式（タブ区切り）、Excel形式等に出力できる。 出力対象の項目や出力順を指定し、出力するレイアウトを変更できる。
	11	検索結果の中から印刷対象のデータを選択し、Excel形式またはPDF形式等での出力、プリンタへ印刷することができる。 様式として「土地調書（現地調査）」、「交付請求書（全部事項申請）」、「住民票申請書（現住所照会依頼）」などが印刷できる。
	12	土地の履歴データにファイル（スキャンした測量図画像、現地写真、各種ドキュメントなど）をファイリングすることができる。
家屋データ管理	13 家屋データ変換	要約書データ内にある建物・区建データのみを抽出し、表題登記（過去履歴含む）と所有権情報等を元に、家屋の登記履歴を作成できる。
	14 家屋データ照会	作成した家屋の登記履歴のうち、最新の履歴のみを検索できる。 検索条件に「字/地番/家屋番号、所有者氏名/住所（共有者含む）、種類、構造/階数/床面積、登記日付、登記内容、閉鎖有無」等を指定できる。
	15	作成した家屋の登記履歴のうち、過去の履歴のみを検索できる。 検索条件に「字/地番/家屋番号、所有者氏名/住所（共有者含む）、種類、構造/階数/床面積、登記日付、登記内容、閉鎖有無」等を指定できる。
	16	検索結果から家屋履歴データを選択し、登記情報（一棟表示、専有表示、附属、敷地権、甲区、乙区）を確認できる。 また、「登記済通知書形式／全部事項形式／台帳形式」で表示できる。
	17	検索結果から家屋履歴データを選択し、登記情報を編集することができる。 また、作成した履歴データの処理状態（調査中、調査済など）や任意項目（必要に応じて利用可能）を編集することができる。
	18	検索結果をCSV形式（カンマ区切り）、TXT形式（タブ区切り）、Excel形式等に出力できる。 出力対象の項目や出力順を指定し、出力するレイアウトを変更できる。
	19	検索結果の中から印刷対象のデータを選択し、Excel形式またはPDF形式等での出力、プリンタへ印刷することができる。 様式として「家屋調書（現地調査）」、「交付請求書（全部事項申請）」、「住民票申請書（現住所照会依頼）」が印刷できる。
	20	家屋の履歴データにファイル（スキャンした平面図画像、現地写真、各種ドキュメントなど）をファイリングすることができる。
マスタ管理	21 字マスタ	所在（大字小字、町丁目、かな）をコード管理することができる。
	22 登記地目マスタ	地目をコード管理することができる。
	23 登記種類マスタ	種類をコード管理することができる。
	24 登記構造マスタ	構造（主体、屋根、地上階数、地下階数）をコード管理することができる。
	25 所有者マスタ	所有者（氏名、住所）をコード管理することができる。
	26 共有者マスタ	共有者（氏名、住所、持分分子、持分分母）をコード管理することができる。
	27 登記事由マスタ	登記事由をコード管理することができる。
	28 登記内容マスタ	登記内容をコード管理することができる。
	29 処理状態マスタ	登記情報の処理状態（調査中、調査済など）をコード管理することができる。
	30 コード変換	登記情報の各種名称（所在、地目など）から、マスタ管理しているコードに変換できる。

## 別紙2 機能要件【固定資産GIS 機能一覧】②

要件定義		
機能分類体系		要件
大項目	小項目	
■基本要件		
運用管理	31 パスワード変更	ログインユーザのパスワードを変更できる。 また、パスワードの複雑さや有効期限を設定でき、有効期限を超えた場合にパスワードを変更させることを促すことができる。
システム管理	32 グループ管理	ログインユーザが所属するグループを管理することができる。
	33 ユーザ管理	ログインユーザを追加/編集/削除することができる。
	34 メニュー制限	ログインユーザが所属するグループ毎に利用可能なメニューを設定変更できる。
	35 機能制限	ログインユーザが所属するグループ毎に利用可能な機能（出力、印刷、添付など）を設定変更できる。
	36 外字マスタ設定	法務局から提供される外字データをシステムで表示することができる。

## 別紙3 機能要件【公開型GIS モデル仕様書】

要件定義				
機能分類体系			要件	
大項目	中項目	小項目		
■基本要件				
共通事項	サービス提供環境	1	機器環境	利用者の操作機器環境 ・対応させる機器：WindowsPC、MacPC、Android、iPhone ・対応OS：Windows10以降、MacOSX以降、Android11以降、iOS14.8以降 ・対応ブラウザ：Google Chrome、Microsoft Edge(Chromium版)、Firefox、Safari (MacOS)：いずれも最新バージョンより3世代前まで ・管理者の操作機器環境：利用者側と同様（ただしWindowsPCのみ） ・JAVA、ActiveX、.NET Framework等のプログラムは必要としない。 ・スマートフォン、タブレット等のモバイル端末では、過去3年以内に発売された主要な機種に対応し、また、運用期間中に販売される主要な機種において、追加費用なしで利
		2	ネットワーク環境	利用者側、管理者側ともに、インターネット上で動作することとする。 インターネット上の通信経路については暗号化するものとする。 通信環境：公開型は市民利用前提のためインターネット側のみ。通信速度10Mbps以上（推奨50Mbps以上）
		3	データ管理	週1回フルバックアップ、その他6日間は差分をバックアップのうえ、いずれもバックアップデータを3週間分保存することとする。
		4	サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能とすることとする。
	ライセンス数	5	管理者側ライセンス	管理者ユーザアカウントは3アカウント以上とする。一般ユーザアカウントは10アカウント以上を提供すること。
	デザイン・操作性	6	デザイン	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。
		7	操作性	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。
		8	アクセシビリティ	「JIS X8341-3：2016」が規定する「レベルAA」に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること。
	情報セキュリティ	9	システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。
		10	アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得できること。
		11	不正プログラム対策	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。
		12		システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。
	サービス終了時・契約満了時等の対応	13	保有データの提供	発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報については、全て抽出し発注者に提供することとする。
		14	保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、保有データの提供ののち、速やかにシステムから消去すること、消去においては、復元不可能な状態にする。
	利用規約等	15	利用規約への同意	利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）をとる機能を有すること。
	問合せ機能	16	－	問合せ方法に関する情報が掲載できること。
	統計機能	17	－	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計する機能 例：延べ利用回数、Webページビュー数、機能毎の利用数など
	関係法規制への対応	18	－	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること
	著作権	19	－	（必要な場合） ・第三者が権利を有している画像等を使用する場合は、事前に権利者から二次利用を含めた使用の許諾を得た上で、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受託者が行うこと。
資格管理	管理側アカウント管理	20	管理情報	職員用アカウントを登録できること。
		21	アカウント設定方法・認証方法	登録できるユーザー数は無制限であること。
		22		管理者によるパスワードのリセット（又は再設定）ができること。

# 別紙3 機能要件【公開型GIS モデル仕様書】

要件定義				
機能分類体系			要件	
大項目	中項目	小項目		
■ 類型毎に異なる機能要件				
基本条件	地図の種類・ライセンス	23		システムで使用する地図は公共施設や、商業施設等の位置が適切に配置され視覚的に分かりやすい案内地図や航空写真、地形図等を背景図として利用できるものとする。必要なライセンス数は無制限とする。
		24	トップページ等	利用者向けトップページを設置すること。 トップページで表示したい内容については、発注者と協議の上決定するものとする。
利用者向け機能	トップページ	25		利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。 (例) 自治体のキャラクター画像や記章等を設定する。
		26	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。
	地図表示機能	27		地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイヤの背景図については、タイル画像化して表示できること。
		28	凡例機能	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。
		29	地図表示	表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。
		30		表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。
		31		表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。
		32		異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。
		33		並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。
		34		施設情報や地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。
		35		背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。
		36		表示している地図の内容を表示できるURLを表示できること。
		37	索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。
		38		索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。
		39	主題情報・シンボル情報	図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できる。
		40		図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できる。
		41		点レイヤと属性情報で構成されるシンボル情報を表示できること。また、点レイヤはアイコンとして表示できること。
		42		アイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。
		43		属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できる。
		44		属性情報の値（角度）に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できる。
		45		縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。 また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。
		46	関連ファイル	施設情報や地図コンテンツに関連ファイルを設定できること。
		47		アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、関連ファイルを表示できること。
		48		画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。
		49	拡大縮小	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。
		50		表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。
		51		レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。
		52		マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。
		53	移動	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示できること。
		54		画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できること。
		55		マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。

### 別紙3 機能要件【公開型GIS モデル仕様書】

要件定義					
機能分類体系			要件		
大項目	中項目	小項目			
(利用者向け機能)	レイヤ管理等	56	レイヤ表示等	線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	
		57		レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができる。	
	属性機能		58	属性情報設定	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。
			59	属性情報表示	地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。
			60	属性一覧	地図上の地物の属性一覧を表示できること。
			61	属性検索	属性一覧画面から地物を検索できること。
			62	属性データ型	属性情報として以下のデータ型を設定できること。
			63		数値、文字列、URL
			63		URLについてはハイパーリンクとして表示できること。
	検索機能		64	住所検索	住所情報による地図検索ができること。
			65		住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「ー」（長音）による表示等、想定される住所表記に対して対応できる。
			66	目標物検索	目標物による地図検索ができること。
			67		キーワード入力による地図検索ができること。キーワードは文字の部分一致で検索できること。
			68		リスト選択による地図検索ができること。
			69	ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できる。
	印刷・出力		70	印刷	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。
			71		都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。
			72		コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。
			73	データ出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。
			74	計測	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。
75			距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができる。		
76			計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。		
76					
作図機能		77	作図	地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。	
		78		一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。	
スマートフォン対応		79	表示	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。	
管理機能	お知らせ機能	80	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。	
	公開管理	81	公開データ登録	公開データの登録については、以下の点に留意し要件を決定することとする。 データの種類や情報更新の頻度等の指定、公開承認や公開期間等の指定については、発注者と協議の上決定するものとする。 統合型GISとの連携して公開型GISで公開できるものとし、非公開、公開については、発注者と協議するものとする。	